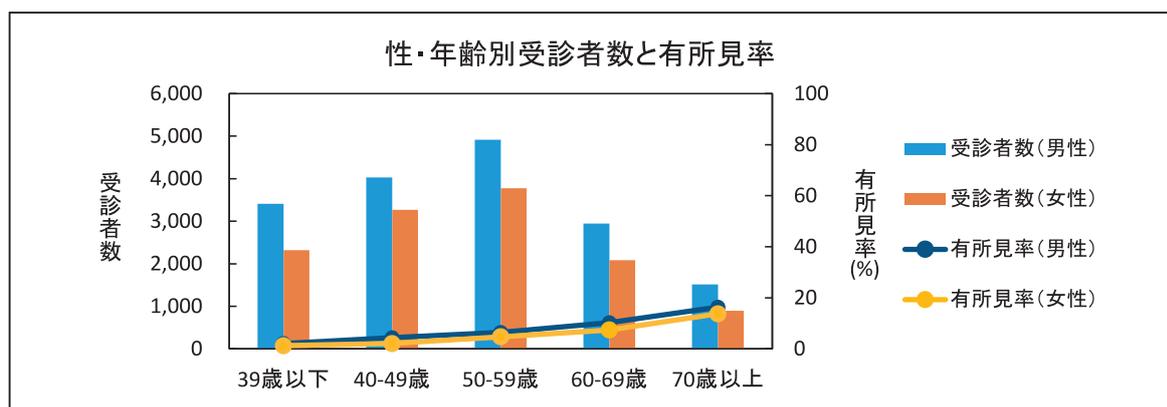


## 胸部X線検査

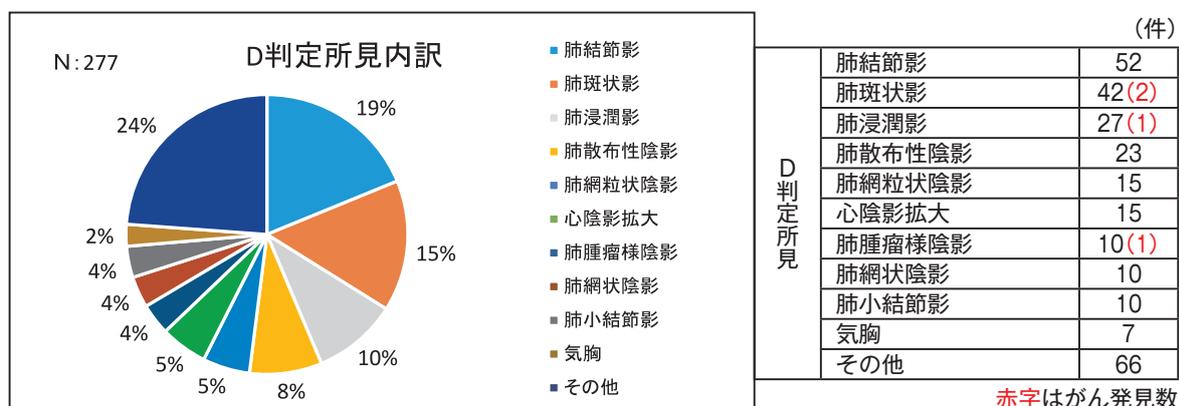
性別	年齢	受診者数	正常者数 A・B判定(%)	経過観察者数 C0～C12判定(%)	要精検者数 D判定(%)	治療中 F判定(%)
男性	39歳以下	3,407	3,337 (97.9)	50 (1.5)	16 (0.5)	4 (0.1)
	40-49歳	4,027	3,851 (95.6)	154 (3.8)	15(1) (0.4)	7 (0.2)
	50-59歳	4,915	4,600 (93.5)	249 (5.1)	43 (0.9)	23 (0.5)
	60-69歳	2,948	2,647 (89.7)	221 (7.5)	49(3) (1.7)	31 (1.1)
	70歳以上	1,511	1,264 (83.6)	160 (10.6)	42 (2.8)	45 (3.0)
女性	39歳以下	2,322	2,293 (98.8)	22 (0.9)	3 (0.1)	4 (0.2)
	40-49歳	3,269	3,201 (97.9)	52 (1.6)	11 (0.3)	5 (0.2)
	50-59歳	3,775	3,598 (95.3)	128 (3.4)	31 (0.8)	18 (0.5)
	60-69歳	2,085	1,931 (92.6)	112 (5.4)	19 (0.9)	23 (1.1)
	70歳以上	895	772 (86.3)	87 (9.7)	19 (2.1)	17 (1.9)
計		29,154	27,494 (94.3)	1,235 (4.2)	248(4) (0.9)	177 (0.6)

赤字はがん発見数

胸部X線検査の受診者数は29,154人、このうち要精検者数は248人(0.9%)、治療中は177人(0.6%)でした。がん発見者数は4人(発見率0.01%)でした。



受診者数は29,154人、このうち有所見者数は1,660人(5.7%)。男女とも加齢とともに有所見率が増加しています。

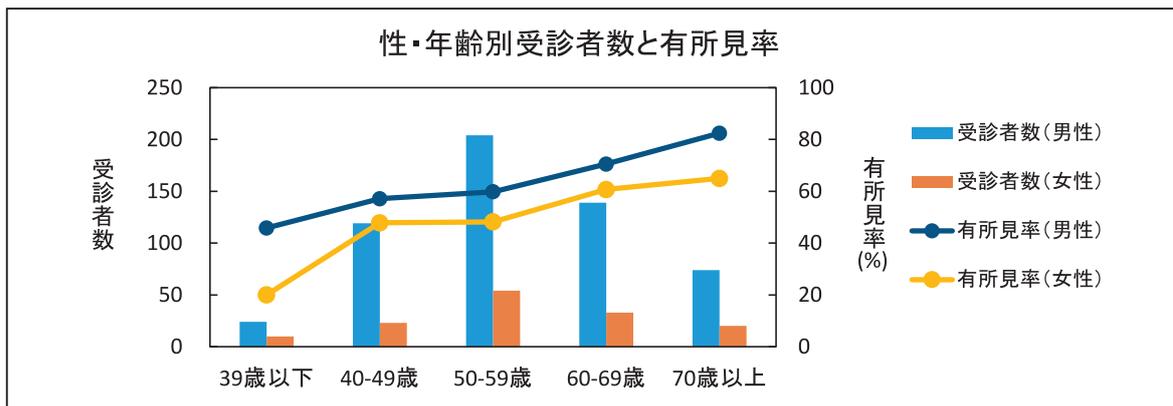


- 〈治療例〉・肺腫瘤様陰影(D)→肺カルチノイドと診断され、右肺部分切除術が施行されました。  
 ・肺斑状影(D)→肺がんと診断され、胸腔鏡下肺部分切除術が施行されました。

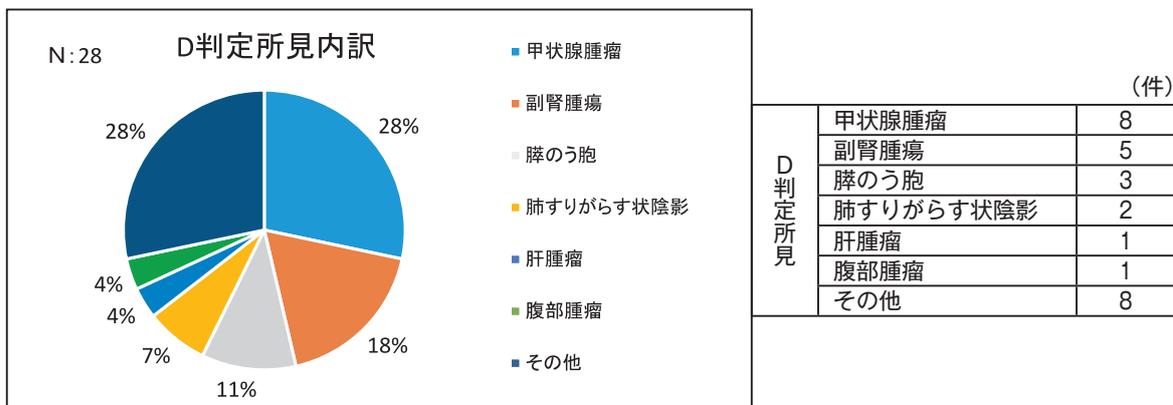
## 胸部CT検査(一次検査)

性別	年齢	受診者数	正常者数 A・B判定(%)	経過観察者数 C0～C12判定(%)	要精検者数 D判定(%)	治療中 F判定(%)
男性	39歳以下	24	13 (54.2)	11 (45.8)	0	0
	40-49歳	119	51 (42.9)	64 (53.8)	3 (2.5)	1 (0.8)
	50-59歳	204	82 (40.2)	111 (54.4)	5 (2.5)	6 (2.9)
	60-69歳	139	41 (29.5)	85(1) (61.1)	8 (5.8)	5 (3.6)
	70歳以上	74	13 (17.6)	49 (66.2)	4 (5.4)	8 (10.8)
女性	39歳以下	10	8 (80.0)	2 (20.0)	0	0
	40-49歳	23	12 (52.2)	10 (43.5)	0	1 (4.3)
	50-59歳	54	28 (51.8)	21 (38.9)	2 (3.7)	3 (5.6)
	60-69歳	33	13 (39.3)	16 (48.5)	2 (6.1)	2 (6.1)
	70歳以上	20	7 (35.0)	7 (35.0)	1 (5.0)	5 (25.0)
計		700	268 (38.3)	376(1) (53.7)	25 (3.6)	31 (4.4)

胸部CT検査の受診者数は700人、このうち要精検者数は25人(3.6%)、治療中は31人(4.4%)でした。がん発見者数は1人(発見率0.14%)でした。



受診者数は700人、このうち有所見者数は432人(61.7%)。70歳以上の男性の有所見率が最も高い結果(82.4%)となりました。



〈治療例〉・肺すりがらす状陰影(C12)→肺がんと診断され胸腔鏡下肺部分切除が施行されました。